

令和7年第2回教育委員会 議事録

日 時：令和7年2月5日（水）午後1時30分

場 所：香南市役所6階 604・605会議室

教育委員：三木守教育長、百田久範委員、中元啓恵委員、森本美穂委員、亀川孝志委員

事務局：門脇教育次長、小松学校教育課長、猪原こども課長、山崎生涯学習課長、
小松(泰)教育研究所長、山崎学校教育課長補佐（記録）、杉村学校教育課主事

議 題

議 事

- | | |
|------|--|
| 日程第1 | 議事録署名委員の指名 |
| 日程第2 | 議案第2号 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について |
| 日程第3 | 議案第5号 香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について |
| 日程第4 | 議案第3号 香南市児童生徒表彰に関する被表彰者について |
| 日程第5 | 議案第4号 就学援助認定について |
| 日程第6 | 教育長の報告 |
| 日程第7 | その他 ・令和6年度卒業・入園式及び令和7年度入学・入園式等について |

開会 午後1時30分

○教育長

ただいまから令和7年第2回の香南市教育委員会定例会を開会いたします。

議事日程はお手元に配付しているとおります。

まず、日程第1「議事録署名委員の指名」については、中元委員さんをお願いします。

本日は、日程第2、議案第2号「非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」から、日程第3、議案第5号の「香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」まで、全部で4件の議案を提案します。

なお、この日程の順番と議案の番号の順番が違っておりますけれども、これにつきましては、日程第4 議案第3号「香南市児童生徒表彰に関する被表彰者について」と日程第5 議案第4号「就学援助認定について」、この2つにつきましては、個人を特定する内容のことについての議事ということになりますので、この2つは非公開ということとさせていただきますと思いますけれどもよろしいでしょうか。

（全員異議なし）

○教育長

では、議案第3号と議案第4号は非公開といたします。

そういうことで、日程の順番が議案の順番が入れ替わっているということで進めていきたいと思っております。

それでは日程第2の議案第2号「非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」、担当課より補足説明をお願いします。

○教育次長

議案第2号「非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」説明をさせていただきます。

議案書は1ページになります。

提案理由としましては、令和7年度の園医・学校医の報酬について別紙のとおり見直したいので、本条例改正議案を香南市議会3月定例会へ議案として提出するため、教育委員会に諮るものです。

内容につきましては、お配りしておりました新旧対照表で説明をさせていただきます。右肩に「議案第2号 新旧対照表」と書いた資料の裏面2ページの方をご覧ください。

改正の内容につきましては、いわゆる学校医の報酬の見直しを行うものです。保育所嘱託歯科医、保育所嘱託医、学校歯科医、学校医については年額の1所、1校当たりの金額に変更はありませんが、1人当たりの単価を490円だったものを530円に引き上げるものです。

今年的人事院勧告で国家公務員の平均給与変更率が2.76%と大幅に引き上げられたことなどから、香美郡医師会からも報酬額の見直しについての申し出があり、協議しました結果、年額については据え置きで1人当たりの単価について、前回見直しを行った令和4年度以降の人事院勧告の平均給与変更率を勘案して、1人当たりの単価を引き上げることにしたものです。

また学校眼科医と学校耳鼻科医につきましては、昨年度までの人事院勧告による見直しを行っていることから、令和6年度分の平均給与変更率のみを反映させて、1人当たり205円を220円に改正しようとするものです。

説明は以上です。

○教育長

説明が終わりました。本件についてご意見、ご質問はありませんか。

質問がなければ、採決を行います。

議案第2号「非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」承認するというごことでご異議ございませんか。

(全員異議なし)

○教育長

ありがとうございます。ご異議ないようですので、承認することに決定いたしました。

続きまして日程第3、議案第5号「香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」説明をお願いします。

○こども課長

本日お配りをさせていただいております追加議案の資料になります。

議案第5号「香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」ご説明、提案をさせていただきます。

提案の理由については、議案書のほうにも書かせていただいておりますとおり、栄養士法の改正が行われまして、これまで管理栄養士の国家試験を受験するためには栄養士の免許を受けたものでなければいけなかったものが、管理栄養士の養成施設の卒業者であれば栄養士免許取得が不要となることから、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例第17条1項第2号の「栄養士」の後ろに「又は管理栄養士」を加えるものです。

施行日につきましては令和7年4月1日で、この条例改正につきましては3月議会に議案を提出する予定にしております。

説明は以上です。

○教育長

ただいまの説明についてご意見ご質問はありませんか。よろしいですか。

質問がなければ、採決を行います。

議案第5号「香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」、承認するというごこと、意義はありませんか。

(全員異議なし)

○教育長

ご異議ないようですので、議案第5号について承認するという事に決定いたしました。

ここまですが公開で行うものですので、先ほど開会のときに確認しましたように、次の議案からが、非公開となります。

日程第4 議案第3号 香南市児童生徒表彰に関する被表彰者について審議・採択（非公開）

日程第5 議案第4号 就学援助認定について審議・採択（非公開）

（秘密会を解く）

○教育長

この後、日程第6、日程第7がありますけれども、大分時間も遅くなってきておりますが、先に日程第7の「その他」の方からやっていただけたらと思います。

提案の説明をお願いします。

○学校教育課長

「令和6年度卒園・卒業式 及び令和7年度入園・入学式等出席者一覧」という案の書類があります。また、教育委員会からそれぞれ1名、卒業式・卒園式の方には行っていただいております。

7年度の入学式もそうですけれども、今案としてそれぞれその資料の中に出ていますけれども、この場所と時間で都合がつく、都合がつかないという人がいたら、またここで確認してもらって、良かったらこれをお願いしたいと思いますが、ご意見ありましたらどうぞ。

○教育長

今、この場で確認できますか。改めて1回確認してきてから、修正があればご連絡いただいた上で確定。今確定で大丈夫ですか。

○学校教育課長

良かったらもうこれで。

ここにも書いておりますとおり、式の中での祝辞とかいうメッセージは、会の縮小とやはり子ども中心の式にしていこうということで削減し、文章の方を所属の方に送って印刷していただいてそれを配ってもらうという形にしていますので、ご了承ください。

以上です。

○教育長

はい。そしたらその他で、休校とか今の状況のことを1つ。

○学校教育課長

夜須中学校が、コロナが流行ってまして、教員も子どもの方も先週の金曜日に校内で催し物があって、そこで一気に広がったようで、土日から月曜日にかけて体調が悪くなって、月曜日にちょっと休みが増えて、火曜日にどんどん増えてきたので、火曜日に校医さんにも相談したところ、やっぱりこれから増えていくということが予想されるということで、学校閉鎖ということになっています。

夜須小学校もポツポツ、三、四年生が欠席者が全体の15%ぐらいというようなところで、大体学校内で20%ぐらいを目安にしているということと、校医さんが今日もいないということもあって、そこで判断するのも難しいということでぎりぎりのところ。「お兄ちゃんが休んでいるので、もしかしてかかるかも分からないので休ませます」という子もいるので、本当に病気で休んでいる訳じゃないけど、ということで、15%、20%なので、今はまだしてません。

そんなところですよ。

けれど、インフルじゃなくてコロナが流行ってきているというような感じですね。

○教育長

はい。保育・幼児はどうですか。

○こども課長

特に聞いていません。

○教育長

ほか、「その他」ではありませんか。他からはいいですか。

そしたら、日程第6「教育長の報告」になります。

資料は所属長会で配ったものですので、所属長会に出ておられた方にはもうお配りしていません。あと、記録用に1つ回しましたけれど。

臨時の校長会を行う状況になりました。これは不祥事の件です。ニュースでもテレビでも新聞でも出ましたけども、県の教育委員会の方から各市町村の教育長と、それから県立高校の校長に話がありまして、それを受けて各市町村でまた学校の方に話をする。

内容としては、とにかく一人一人が自分ごとにしっかりしてくれと。「どっか誰かで起こる」のではなくて、「自分自身が当事者になる」そういうつもり、そういうことも見通した対応をしっかりと各々がやって欲しいということでした。

例えば、実際の校内研修のやり方についても提案があって、資料お配りしていますけれど、山田高校はシミュレーションで「こういった場面において、あなたはどうしますか」みたいなことをしています。

それは、男子教員と女生徒との間の話だったと思います。それがハラスメント、不祥事に繋がる可能性があるということですね。このホッチキス止めの部分をめくっていただいたら、今年、実際にあった分の事例についての山田高校のワークシートがあります。このケース1・2・3とのことについてどう思うかというのを一番裏のページのところに、個人個人で書き込んで意見交換をして進めていく。要は所属長がポンポンとお話をして終わりにしなさんな、ということです。

「しっかりと個人個人で考えて、それを意見交換するという研修をしっかりとやってください」という話でした。

かなりの件数があり、今年度だけで10件。年を追うごとに増えて、とうとう今年、年度末がまだ終わってない段階で10件ということで、かなり危機感を持った話になっておりました。

それを受けて1月の臨時校長会で教育長としてこのシートを付けて、所属長会・校長会の中で、自分の方から話をさせてもらっています。

違和感ですね。実際にそこに至る手前の段階で「何かこれちょっとおかしくないか」と感じることにについてはしっかりと共有をして見過ごさない。事が起こる手前で、お互いを感じたことについてはしっかりと指摘をし合う、そういう組織づくりのことについて主に話をさせていただきました。

これが1つ目です。

もう1つ、ホッチキス止めで「2月の所属長会」について綴じたものをお配りしましたが、これがつい先日の所属長会のときに自分が話したときの資料です。

この間、森田行ったときに、性的マイノリティーの話がちょっと話題になりましたけれども、そのことについて所属長会の方で自分の方から話をさせてもらいました。

森田のときにも言いましたが、トランプ政権発足によって世界の流れが止められているとか、企業によっては完全に手のひら返しのようなことになっている企業も出てきているので、いろんなところに派生していきだろう。

そっくりこのまま、これに飲み込まれていくとは自分は思いませんが、いろんなことに対してこれが話題になりニュースが流れたりしていった中で、そのことに当事者としては当然不安も感じるだろうし、これを「正しい」と堂々と言いたい人の声が一回り大きくなることにもなりかねないなと思っています。

後ろにカラーでつけてある資料は、自分が「性的マイノリティ」の研修講師で行ったときに使っているパワーポイントからの抜粋です。全部で8枚のシートを付けています。

これを持ち帰って職員の皆さんに見せたときに「この内容は分かっていますよ」ということだったら、これまでやってきた職員研修で概ねのことは分かってくれてるんだろうと。

でも、これを見たとき「これって見たことない。これってどんなこと？」というような話が出てくるようであれば、改めてこのタイミングで「性的マイノリティのことについて研修」ということも考えていただく。それを見極めの1つとして、これを使ってくださいっていうことで、この間の所属長会で配りました。

これの裏側の、シートで言うと16番。裏面の左上の部分です。「違和感を感じ始めた時期」

が、小学校入学前でもうすでに 56%。この子たちは「違う」って感じているけれど説明ができない。理由も言えない。でも「何か自分は皆と違う」と違和感をこの段階で感じ始めていて、中学校入学前の段階でもう 75%を超える子どもたちが「自分は違うんじゃないか、他の子たちと何か違うんじゃないか」、「何」って説明できなくても「何か違うんじゃないか」、そんなことに不安を持っている子どもたちがいる。

芸能界でマイノリティの方たちが、積極的にあるタイミングからラジオとかテレビとかに、ものすごい勢いで出てきたタイミングがありました。

一番その走りといえばカルーセル・マキさんやおすぎとピーコさん。あの方たちが芸能界で積極的にラジオとかテレビとかにどんどん出てくるようになったきっかけが、男の子が本屋に行き、男性同士の恋愛のことをモデルにした書籍の「薔薇族」という雑誌を万引きしたんですね。内容が内容だからカウンターに持って行けなかった。万引きしたことがばれて警察が呼ばれて、ということになって、この子が自死してしまう。自死の理由は家族に内緒だったから、万引きしたことで、家族に伝わってしまうことが怖くて自死したということが起こった。

そのことを知ったおすぎとピーコさんなど性的マイノリティの方々が「そういった子ども達は決して特別ではない。あなただけではないんだ」ということをしっかりと認知してもらうために、どんどんメディアに出ていこうということを決意してガンガン出始めるという流れが芸能界の中で起こりました。

随分今は変わってきたというか、メディアに出る方の数も全然変わってきましたし、例えばカズレーザーさん、あの方の場合はバイセクシャルとして公表しています。恋愛対象は男性も女性も両方ということ彼の場合は公表していますが、そういうマイノリティーと言われる人たちが自分のことをオープンにメディア等にも出すようになってきた。

でも、そのことを自分もそうだと思っても、それを家族にはなかなか言えないと言うのがこの問題の根深さですので、そこをしっかりと見ていってください。

そして最も最悪な想定で言えば、その右側にある、実際にですね、自傷行為で止まらずに、自殺を考えてみた、止まらずに未遂まで行った方の割合が 10 代で 16%、これはゲイ・バイセクシャルの方に限った数字としてここへ載せています。

性的マイノリティー、他にもいろんな方が増えていますので、それによってそれぞれ変わります。

「バイセクシャル」というのは、先ほどお話したように、恋愛対象が異性に限らないという方ですね。「自分自身は生まれてきた体は男で、自分のことは男。だから私は男。着る服だって男。でも恋愛対象は女性の場合も男性の場合もありますよ。」そういった方がバイセクシャルですけど。

それから「ゲイ」ですね。男性であって、自分自身のことを女性的男性の立ち位置で恋愛を求める方。

そういった方の 10 代での自殺未遂が 16%ってということが公表されています。この悩みに直接耳を傾けれるのは、実は家族よりも先生方のほうが可能性があるんですよ、というところでお話をしました。

自分からの報告としては以上になります。

何か他に報告であったり、確認しておきたいことはございませんか。

○亀川委員

来週の研修会については、もう各自で行って構わないですか。

○教育次長

後で話しようかと思っていました、すいません。

ちょっと今のところ、百田委員さん以外の 3 名が総会等研修会出席になっています。

教育長は朝から会議があるので、教育長はもう自分で行って自分で帰ってくる。

教育委員さんは、もし一緒に行くのであれば、自分がまとめて積んでいって本庁出発・本庁帰庁という形でいくということも考えて、一応公用車は押さえています。

もしご自分で行くのであれば、駐車場代とか出すこともできますので、ご自分でいくという手段を取られても構いませんが、どうしますか。

1 時からだったと思うので、遅くても 12 時には出て、私は本委員ではないので、駐車場が止められなかったら後で追いかけていっても大丈夫なので、12 時ごろに出発をしようかなとも考え

ていますが、どうされますか。

○中元委員

一緒に行きましょうか。皆さん乗り合わせて。

○教育次長

そしたら公用車で送っていくようにしますので、また集合時間とか連絡させてもらうようにします。お願いします。

○こども課長

すいません委員さんの方に「子ども子育て支援事業計画の案」をお届けさせていただきましたが、お気づきのことがありましたら、終わった後で構いませんので、教えてください。

一応、パブリックコメントは1月の31日までだったんですが、0件でした。

それこそ高知新聞にパブリックコメントに全く意見がないっていう記事を見て「あっ」というふうには感じたところです。

以上です。

○教育長

はい。他、何かありませんか。よろしいですか。

○教育次長

次回の予定です。

次の定例の教育委員会は前回もお話しましたように、3月3日月曜日の9時からということで予定をしております。

それと教員の異動の関係で、臨時の教育委員会をまたお願いをしたいと思っています。書類の都合や提出の期限のこともありまして、2月の26日の水曜日の午後1時半からか、翌27日木曜日の朝9時からか、どちらかで日程の調整をしていますが、ご都合はどうでしょうか。

26日の午後か27日の午前かです。特に各課の案件がなければ各課の課長の出席はない形で教育委員さんと教育長と担当の森教育企画監で行うようになると思います。

森本さん、どちらがよろしいですか。

○森本委員

26日の午後、私は用事があるんで。26の午前中か27日だったら大丈夫です。

○教育次長

26の午前中は日程が取れないので、27日木曜日の9時からということで構いませんか。

そしたら、まだ正式ではないですが、27日木曜日の午前9時から教員の異動の関係での臨時教育委員会を仮の予定ということで予定をしておいていただきたいと思います。

お願いします。

○教育長

以上で教育委員会を終わりたいと思います。

どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

閉会 午後4時49分